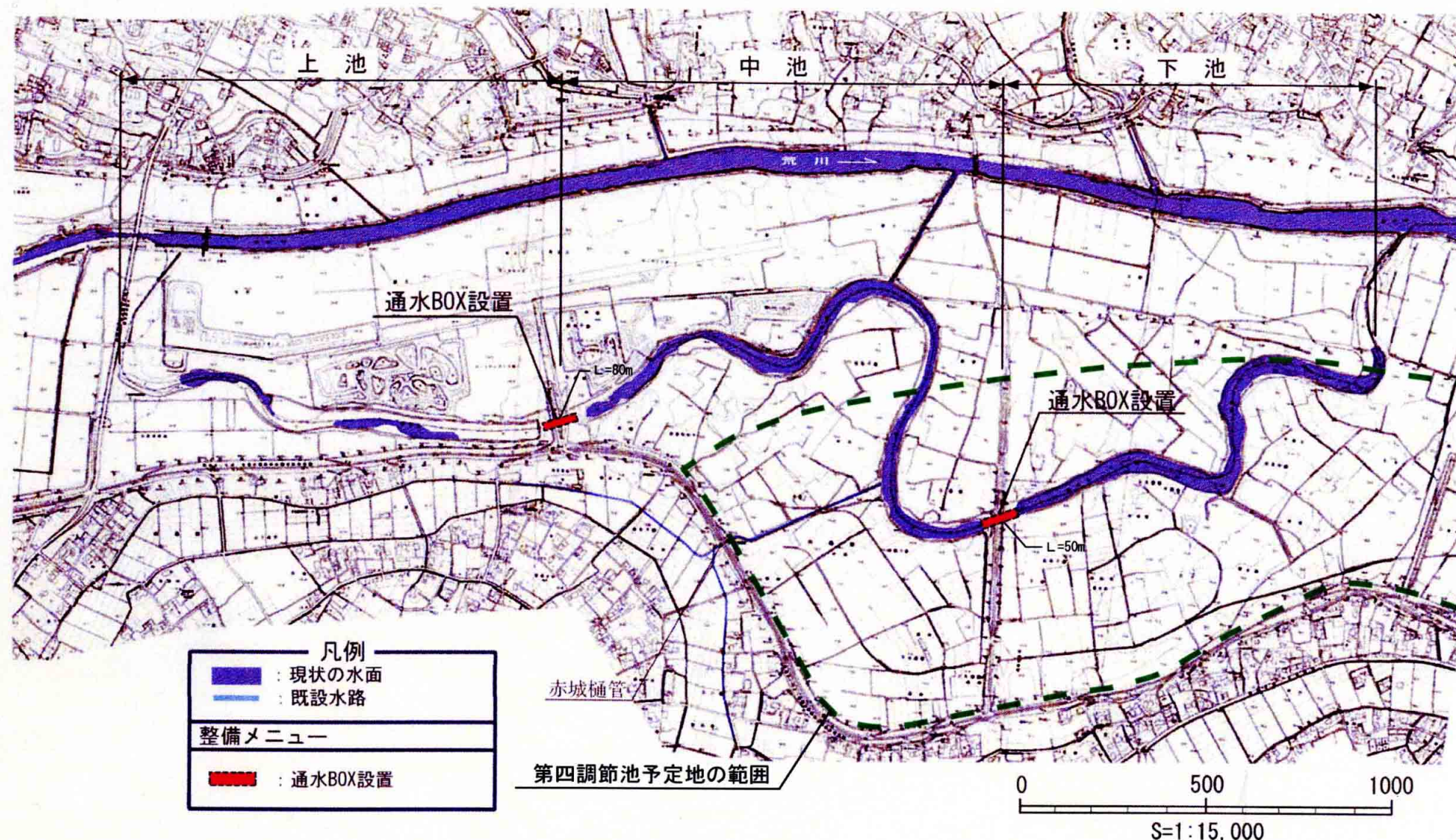


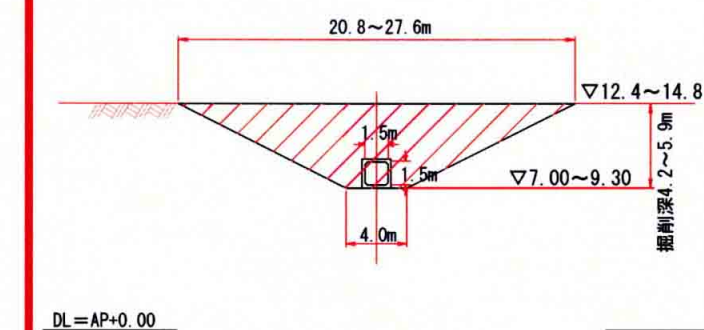
No.8-1案 下池・中池・上池の通水

(ボックスカルバート)

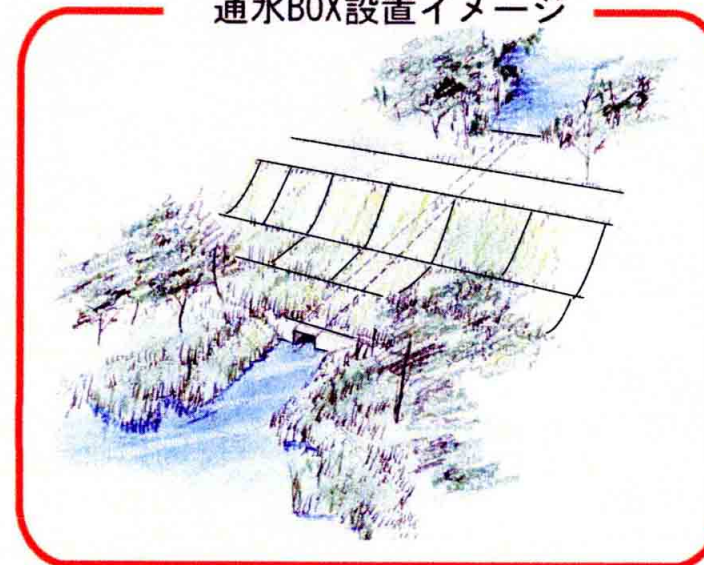
平面図



通水BOX断面図



通水BOX設置イメージ



目的	上池・中池・下池と別々になっていた3つの池を連続した1つの水域とし、相互に水が往来できるようにする。						
条件	ボックスカルバートの設置高は、上池・中池間では上池河床高に合わせてA.P.9.3m、中池・下池間では下池河床高に合わせてA.P.7.7mとする。						
工事概要	上池、中池、下池を分断している横堤を掘削し、樋管等で実績があるボックスカルバートによる通水路を設置する。						
維持管理	通水部分の堆積物の除去						
工事費	通水BOX設置工事 2箇所(合計Σ L=130m)	細別	単位	数量	単価(円)	金額(千円)	備考
		掘削	m ³	9,200	600	5,520	単価には、機械掘削積込み、1km以内ダンプ運搬、仮置き場数均し含む。
		埋め戻し	m ³	8,700	1,300	11,310	単価には、積込み、1km以内ダンプ運搬、戻し転圧含む。
		ボックスカルバート □-B=1.5m×H=1.5m	m	中池-上池間L=80m、中池-下池間 L=50m、合計ΣL=130m (総体積 B:2m×H:2m×L:130m≒ 500m ³)	110,000	14,300	単価には、BOX本体据付含む
		諸経費				15,570	直接工事費の50%と仮定し、端数を調整。
		工事費合計				46,700	(道路撤去・修復費および仮締切は含まない)
長所	・遊水効果に影響はない。 ・維持管理が少ない。 ・横堤部分の工事であるため、旧流路への生態系への影響は少ない。 ・施工により荒川本川に与える影響は少ない。						
短所	・土砂の堆積等がある場合、暗渠であるため維持管理が困難						
備考							

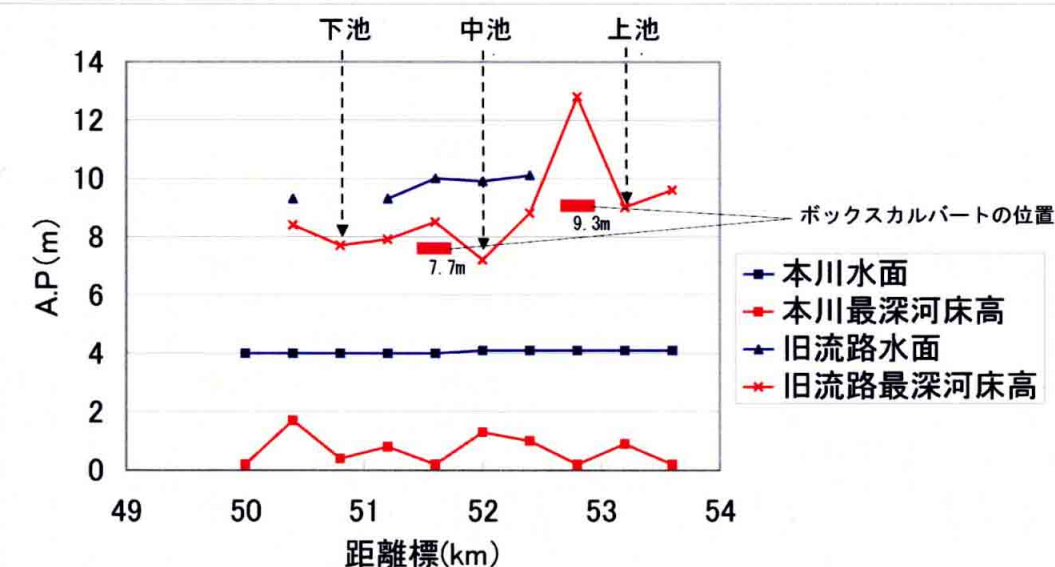


図 旧流路各池と本川の河床